

子どもを貧困と格差から救う連絡会議のお誘い

7月16日(木)18:30~20:00 エデュカス東京4F 会議室

最寄り駅 JR四谷7分・市ヶ谷7分 地下鉄麹町2分

東京の子どもの実態をつかみ、貧困と格差にあえぐ子どもと家庭に対して私たちができること、行政に要求していくこと、都民に訴えていくべきことなどをみなさんとともに考え、実践していきたい、学校教育が格差を拡大する役割を果たすのではなく、どの子ども大切に、どの子にも明るい未来を開いてあげる役割を果たしたい。そんな思いで、都教組、東京地評、教育連絡会が主催団体となり、6月5日に「子どもを貧困と格差から救う緊急会議」を開きました。

当日は、29団体、90名近い参加者があり、小学校教員、中学校事務職員、児童福祉司、私立高校の立場からの報告を受けて、参加者の交流と提言の確認を行いました。

提言の中味は

自治体に緊急対策を求めましょう。

「ゆきとどいた教育をすすめるための請願署名」「すべての子どもに高校進学を保障する署名」の2つの署名運動にとりくみましょう。

子どもの貧困と格差についてさまざまな機会に話題にしましょう。

就学援助や奨学金制度などについて必要な家庭に知らせましょう。自治体に制度の拡充をもとめましょう。

学校で、義務教育無償の実現に向けて、父母負担を減らす工夫をしましょう。

子どもの貧困の背景にある雇用問題にもとりくみましょう。

学校・保護者・関係諸団体・地域を結ぶ「子どもを守る」ネットワークを作り、それぞれのとりくみを紹介し合い、支え合いましょう。運動を広く都民に発信していきましょう。

集会を運動につなげよう、最後に提言した「子どもを守る」ネットワーク、「緊急会議」から「連絡会議」としてつなげていく呼びかけが、この案内なのです。

「連絡会議」では、提言を具体化していくための話し合いや準備を行い、とりくみや運動を推進していきます。子どもを貧困や格差から救うとりくみを、全都に広げていくための運動母体になればいいと思います。また、連絡会議なので、緩やかな会議として、気軽に参加していただき、趣旨と提言に賛同していただける個人、団体は誰でも参加できるようにしたいと思っています。

というわけで、まずは、6月5日の集会に来ていただいた方、団体にこのご案内を出しています。ご都合がつく方、参加してみようと思う方は積極的にお出かけください。

参加していただける方は、ファックスにてご連絡ください。

東京都教職員組合 (03-3230-3891 E-mail:tokyoso@zenkyo.org)

7月16日の「子どもを貧困と格差から救う連絡会議」に参加します。(差し支えない点をお書きください)

お名前	所属	電話
住所	メールアドレス	

東京都教職員組合ファックス番号 (03-3262-9705)